

15 番の歌 神の初子を賛美しましょう

エホバは私たちに本当に許してくださる

「**あなたは本当に許す方**」。詩編 130:4 *あなたは本当に許す方。それで人はあなたに畏敬の気持ちを抱く。*

ポイント：聖書には、**許す** ことに関する **生き生きとした表現** が幾つも出てきます。そうした表現を **調べる** と、エホバが私たち **一人一人を本当に許してくださる** ことへの **感謝が深**まります。

1. 人が誰かを「許す」と言うとき、それはどんなことを意味する場合がありますか。

誰かを傷つける ようなことを **言ったりしたり** してしまったことがありますか。そういうとき、**許してもらえるとほっとする** ものです。でも、**一口に「許す」といっても** **いろいろな意味** があります。**完全に仲直りするつもりで「許す」と言う場合** もあれば、**ただその件についてはもう話さない** という意味でそう言う場合もあります。

2. 聖書によると、エホバはどのように許してくださいますか。（脚注も参照。）

2 **エホバの許し方** は **人間の許し方** と **大きく違**っています。それは **特別なもの** です。詩編作者はエホバについてこう言いました。「**あなたは本当に許す方**。それで人は **あなたに畏敬の気持ちを抱く**」。***元**のヘブライ語では、「許す」に当たる語に定冠詞が付いていて、それが **ほかのものとは異なる唯一本当の許し**であることを示しています。多くの聖書翻訳ではこの重要な違いが見過ごされていますが、「新世界訳聖書」では詩編 130 編 4 節でその違いが分かるように訳されています。（←詩 130:4）エホバは「**本当に許す方**」です。**エホバの手本** から、**許すことの真の意味** を学べます。聖書の中では、**エホバが許すこと** に関して、**人が誰かを許すときには決して使われないヘブライ語表現が使**われることがあります。

3. エホバの許し方は人間とどのように異なっていますか。（イザヤ 55:6, 7）

3 **エホバが誰かを許す** とき、その人の **罪は完全に消し去られ**ます。**壊れていた関係はすっかり元通りに**なります。エホバは驚くほど **寛大**に、そして **完全に許して**くださいます。（イザヤ 55:6, 7）**見いだせるうちにエホバを探し求めよ。その方が近くににいるうちに呼び掛けよ。悪い行いをやめ、有害な考えを捨てよ。憐れんでくださるエホバのもとに帰れ。私たちの神のもとに帰れ。神は寛大に(*惜しみなく)許してくださる。**を読む。）

4. 本当の許しがどのようなものかを理解できるようエホバはどのように助けてくださっていますか。

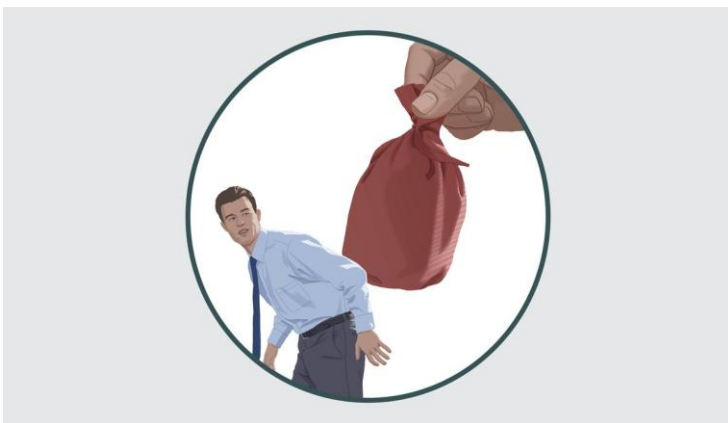
4 不完全な私たちが、**エホバの許し方**について **本当の意味を理解することはできる**のでしょうか。エホバは私たちのために、聖書の中で **生き生きとした表現** を幾つも使って許しについて教えています。**この記事** ではその幾つかを考え、**エホバが** **どのように罪を取り除き、壊れた関係を修復**

してくださるかについて学びます。さまざまな表現からエホバの許し方についてさらに理解できると、愛情深いお父さんエホバへの感謝はもっと深まることでしょう。

①エホバは罪を取り除く

5. エホバは私たちの負っている罪をどうしてくださいますか。

5 聖書では、罪はよく重い荷物に例えられています。ダビデは自分の犯した罪について次のように言いました。「私の過ちは頭の上に高く積み重なる。負い切れない重い荷物のように」。(←詩 38:4) でもエホバは、悪い行いを悔い改めた人の罪を許してくださいます。(詩 25:18 私の苦悩と災難を見てください。私の全ての罪を許してください。: 32:5 私はついに自分の罪をあなたに告白した。過ちを隠さなかった。「違反をエホバに告白しよう」と言った。すると、あなたは過ちと罪を許してくださった。) このような場合に使われる「許す」という意味のヘブライ語の表現は基本的に、「持ち上げる」とか「運ぶ」という考えを含んでいます。エホバは私たちの罪を許すとき、重たい荷物を代わりに背負って持っていってくれるかのように、罪を取り去ってくださいます。



「許してくださった」。(詩 32:5)

6. エホバは私たちの罪をどれほど遠くに離してくださいますか。

6 エホバは私たちの罪をどれほど遠くに取去ってくださるのでしょうか。詩編 103 編 12 節→にはこうあります。「日の出は日の入りから遠く離れている。同じように、神は私たちの違反を私たちから遠くに離してくださった」。東と西は全く反対の方角なので、ある意味で一番遠いといえます。この2つが重なることは絶対にありません。エホバは私たちの想像できる一番遠い所にまで罪を持って行ってくださるのです。エホバがこのように許してくださることを考えると、本当に安心できます。

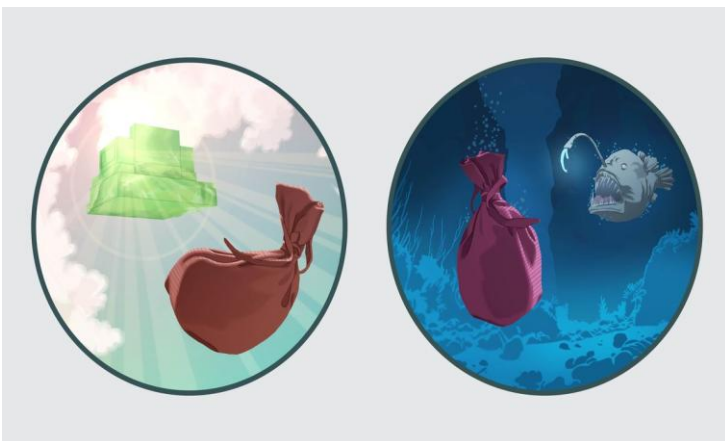


「日の出は日の入りから遠く離れている」。(詩 103:12)

7. エホバは私たちの罪をどうしてくださいますか。(ミカ 7:18, 19)

7 エホバが私たちの罪を遠くに持っていくということは、その罪をエホバがずっと持っているということなのでしょうか。そうではありません。ヒゼキヤ王はエホバについてこう書きました。

「私の全ての罪をご自分の後ろに投げ捨ててくださいました」。これは脚注によると、「私の全ての罪をご自分の視界から取り除いてくださいました」とも訳せます。(イザ 38:9 ユダのヒゼキヤ王が病気になり、回復した時に書いた詩、17脚注ご覧ください、私は平和の代わりにひどい苦難を味わいました。しかし、あなたは優しくしてくださり、私を滅びの穴から守ってくださいました。私の全ての罪をご自分の後ろに投げ捨てて(*視界から取り除いて)くださいました。) エホバは悔い改めた人の罪を投げ捨てて、見えなくなるようにしてくださるということです。この表現は、「あなたは私の罪をまるで生じなかったかのようにされた」と訳すこともできます。ミカ 7章 18, 19 節あなたのような神がいるでしょうか。あなたはご自分の財産である民の残りの者のために、過ちを許し、違反を見過ごす方。いつまでも怒りを抱き続けることはない。揺るぎない愛を示すことを喜ばれるから。19 神は私たちに再び憐れみを示してくださる。私たちの過ちを征服して(*踏みつけて/抑え付けて)くださる。全ての罪を深い海の中に投げ込んでくださる。にはこのことを強調する別の表現が使われています。(読む。)そこではエホバが罪を深い海の中に投げ込んでくださると書かれています。当時、深い海の中に何かを投げ込んだなら、それを取り戻すことはできなかったでしょう。



「私の全ての罪をご自分の後ろに投げ捨ててくださいました」。(イザ 38:17)

「全ての罪を深い海の中に投げ込んでくださる」。(ミカ 7:19)

8. ここまでで、どんなことを学びましたか。

8 こうした表現から、**エホバは私たちが許すとき、罪という重荷から解放してくださる**ことが分かります。ダビデはこう言いました。「**不法な行いを許され、罪を覆われた人は幸せだ。罪があるとエホバから見なされない人は幸せだ**」。([ロマ 4:6-8](#) **行いによらずに神から正しいと見なされる人の幸せについて、ダビデも次のように語っています。 7 「不法な行いを許され、罪を覆われた人は幸せだ。 8 罪があるとエホバから見なされない人は幸せだ」。**) **本当に許してもらえる**と、**このように感じる**ことができます。

②エホバは罪を拭い去る

9. エホバがどれほど許してくださるかが分かるどんな**表現**がありますか。

9 エホバは**贖いの犠牲**によって、**悔い改めた人の罪を拭い去**ってくださいます。この点について**理解を深めるのに役立つ別の表現**も考えてみましょう。エホバは**罪を洗い流し、洗い落とす**てくださいます。その結果、**罪を犯した人は清い状態**になります。([詩 51:7](#) **ヒソプで私を罪から清めてください、私が清くなるように。私を洗ってください、雪よりも白くなるように。** [イザ 4:4](#) **エホバは処罰の力(c*へ語ルーアハ)と焼き払う(*浄化する)風(c*へ語ルーアハ)によって、シオンの住民(d*娘たち)の汚れ(d*排せつ物)を洗い流し、エルサレムの中で流された血を洗い落とす。その時。** [エレ 33:8](#) **私に対して犯した全ての罪から彼らを清め、私に対して犯した全ての罪や違反を許す**) エホバはそのことを**次のように表現**しています。「**あなたたちの罪は緋のようだが、雪のように白くされる。紅の布のように赤いが、羊毛のようになる**」。([イザ 1:18](#) **エホバはこう言う。「来なさい。私たちの間で物事を正そう。あなたたちの罪は緋(*赤)のようだが、雪のように白くされる。紅の布のように赤いが、羊毛のようになる。**) 布から**緋色や紅色の染みを取り除くのは本当に難しい**ことです。それでも、エホバは私たちの**罪を見えなくなるまで完全に洗い流す**と保証しています。



「あなたたちの**罪は緋のよう**だが、**雪のように白く**される」。([イザ 1:18](#))

10. エホバが寛大に許してくださることは、どんな**表現**から分かりますか。

10 前の記事で考えた通り、罪は「**負債**」にも例えられています。([マタ 18:32-35](#) **そこで主人は、その男性を呼んで言いました。『邪悪な奴隷よ、あなたが嘆願した時、私は負債を全て取り消し**

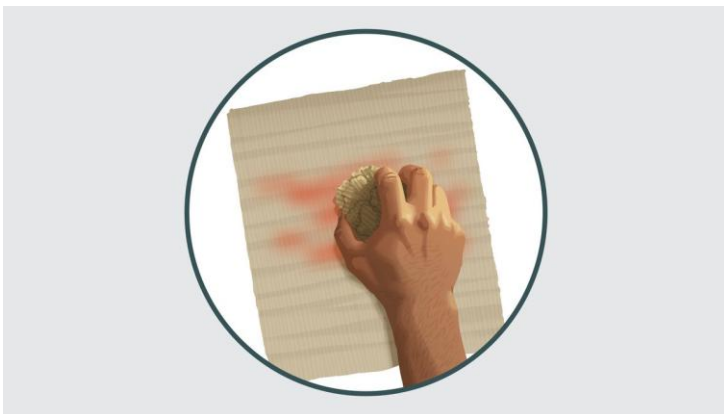
てあげました。33 私があなたに憐れみを掛けたように、あなたも仲間の奴隷に憐れみを掛けるべきではありませんでしたか』。34 憤った主人は、借金を全て返すまで、その男性を牢番たちに引き渡しました。35 もしあなたたち各自が仲間を心から許さないなら、天の父もこの主人と同じようにします」。) それでエホバに罪を犯すたびに、私たちの負債はどんどん増えていっているといえます。エホバに対して多額の借金を負っているようなものです。でも、エホバは私たちの罪を許し、負債を取り消してくださいます。一度許した罪を蒸し返すようなことはしません。エホバがこのように許してくださる時、本当にすがすがしい気持ちになり、安心できます。



「私は負債を全て取り消してあげました」。(マタ 18:32)

11. 罪が「消し去」られるという聖書の表現にはどんな意味がありますか。(使徒 3:19)

11 エホバは私たちの罪という負債を取り消すだけでなく、消し去ってくださいます。(使徒 3:19 ですから、罪を消し去っていただくために、悔い改めて生き方を変えなさい。そうすれば、爽やかにする時期がエホバから来て、を読む。) 負債を取り消すと聞くと、帳簿にある数字の上に大きくx印を書くようなイメージかもしれません。でも、それだとxの下の数字はまだ読めます。では、消し去るとはどういうことでしょうか。古代に使われていたインクは、すすと樹脂と水を混ぜて作られたもので、水を含ませた海綿で拭えば文字を消すことができました。それで、負債は「消し去」られると、完全に存在しなくなりました。もともと何が書かれていたか肉眼では見えなくなり、その記録は最初からなかったかのようにになりました。エホバが私たちの罪を取り消すだけでなく、完全に消し去ってくださることを考えると、本当に温かい気持ちになります。(詩 51:9 私の罪から顔を背け(*隠し)、全ての過ちを拭い去ってください。)



「罪を消し去っていただく」。(使徒 3:19)

12. 厚い雲で覆うという表現からどんなことが分かりますか。

12 エホバがどのように私たちの罪を消し去ってくださるか、別の表現も考えましょう。エホバはこう言っています。「私はあなたの違反を雲で覆うかのように、あなたの罪を厚い雲で覆うかのように覆い隠す」。(イザ 44:22 私はあなたの違反を雲で覆うかのように、あなたの罪を厚い雲で覆うかのように覆い隠す。私のもとに帰りなさい。私はあなたを救う(d*買い戻す)) エホバが許して下さる時、私たちの違反はまるで厚い雲で覆われるかのように、全く見えなくなります



「私はあなたの違反を雲で覆う」。(イザ 44:22)

13. エホバに罪を許していただくと、どんな気持ちになりますか。

13 どんなことを学べたでしょうか。エホバが罪を許してくださったなら、私たちは犯した罪を一生残ってしまう汚点のように感じる必要はありません。イエス・キリストの血によって、私たちの負債は完全に取り消されました。そうした負債がそもそも存在しなかったかのように見なして下さるのです。エホバが悔い改めた人を許すというのはこういうことです。

③エホバは良い関係を回復させる

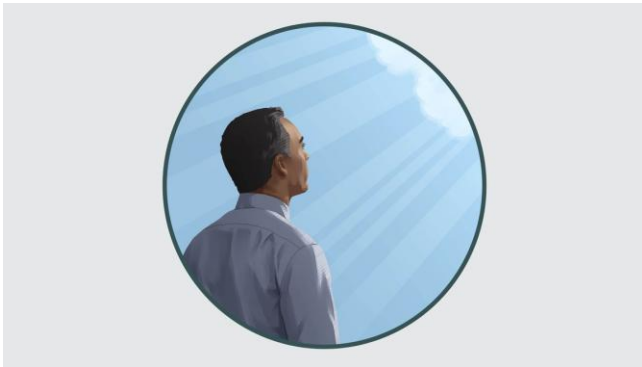


天のお父さんエホバが許して下さるおかげで、私たちはエホバとの良い関係を築くことができます。(14節を参照。)

14. エホバが許して下さることを信じられるのはどうしてですか。(写真と挿絵も参照。)

14 エホバは罪を本当に許して下さる方なので、私たちはエホバとの良い関係を築くことができます。そのことを考えると、罪悪感に悩まされずに済みます。エホバが実はまだ怒っていてどう

罰を与えるかを考えているのではないかと心配する必要はありません。そんなことは絶対にないからです。エホバが許してくださることを信じられるのはどうしてでしょうか。エレミヤはエホバについてこう言っています。「私は彼らの過ちを許し、彼らの罪をもはや思い出さない」。(エレ 31:34 エホバはこう宣言する。「彼らがそれぞれ、隣人や兄弟を教えて、『エホバを知りなさい!』と言うことはもうなくなる。最も小さな者から最も大きな者まで、皆が私を知るようになるからだ。私は彼らの過ちを許し、彼らの罪をもはや思い出さない」。)パウロもこの言葉を引用して、「私は.....彼らの罪をもはや思い出さない」と書きました。(ヘブ 8:12 私は彼らの正しくない行いに対して憐れみを示し、彼らの罪をもはや思い出さない。)ではこれはどういう意味なのでしょう。



「私は.....彼らの罪をもはや思い出さない」。(エレ 31:34)

15. エホバが罪をもはや思い出さないというのはどういう意味ですか。

15 聖書の中で「思い出す」という表現は、必ずしも過去に起きたことを思い起こしたり考えたりすることを指すわけではなく、行動を起こすという意味を含むことがあります。イエスの隣で杭に掛けられていた犯罪者は、「イエス、王国に入る時に私を思い出してください」と言いました。(ルカ 23:42, 43 さらに言った。「イエス、王国に入る時に私を思い出してください」。43 イエスは言った。「今日あなたに言います。あなたは私と共にパラダイスにいることになります」。)単に自分のことを思い起こしてほしいとお願いしていたわけではありませんでした。続くイエスの答えは、イエスがその人を復活させるために行動を起こすつもりであることを示すものでした。それで、エホバが私たちの罪をもはや思い出さないというのは、私たちを処罰するために行動を起こすことはないという意味です。エホバは以前に許した罪のことで、後から処罰したりはしません。

16. 聖書によると、エホバが許してくださっているおかげで、私たちは何から自由になっていますか。

16 エホバが本当に許してくださるおかげで、私たちは自由になることができます。そのことを理解する上で役立つ別の表現が聖書に載せられています。私たちは生まれながらにして罪を犯す傾向があるので、「罪の奴隷」に例えられています。でも、エホバが許してくださっているおかげで「罪から自由に」なることができました。(ロマ 6:17, 18 神に感謝すべきことに、かつて罪の奴隷だった皆さんは、今では神から与えられた教えの型に心から従順になりました。18 皆さんは罪から自由にされたので、正しいことの奴隷になったのです。啓 1:5 また、「忠実な証人」、「生き返った人々の中の初子」、「地上の王たちの統治者」であるイエス・キリストからも、惜

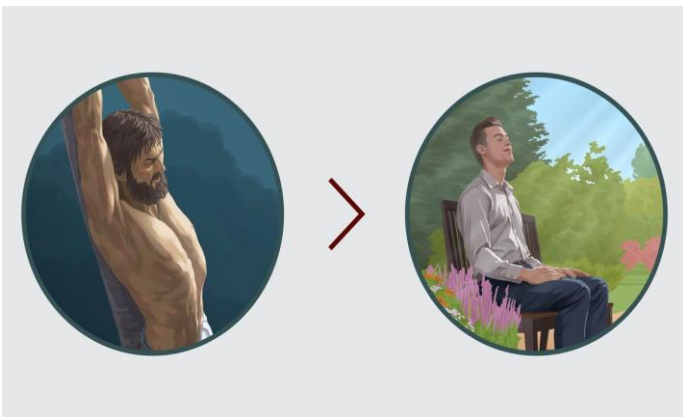
しみない親切が示され、平和が与えられますように。私たちを愛し、自分の血によって私たちを罪から解放してくださった方に) 確かに、エホバに許してもらっている私たちは幸せです。奴隷だったのに自由にされたからです。



「皆さんは罪から自由にされた」。(ロマ 6:18)

17. エホバに許していただくことで、私たちはどのように癒やされますか。(イザヤ 53:5)

17 イザヤ 53:5 彼は私たちの違反のために刺し通され、私たちの過ちのために打ち砕かれた。彼が処罰を受けたので私たちに平和がもたらされ、彼の傷のおかげで私たちは癒やされた。を読む。最後にもう1つ別の表現を考えてみましょう。聖書によると、私たちはある意味で命に関わる重い病気にかかっているといえます。エホバはご自分の子イエスを通して贖いの犠牲を与えることによって、私たちを癒やしてくださっています。(ペテロ 2:24 杭(*木)に掛けられ、私たちの罪を体にかけてくださいました。私たちが罪に関して死に(*罪から解放され)、正しく生きられるようにするためです。「彼の傷によって皆さんは癒やされました」。) 私たちはエホバとの関係が損なわれているという意味で、病気のような状態でした。でも贖いのおかげで、エホバとの良い関係を完全に取り戻すことが可能になりました。重い病気から回復すると本当にうれしく感じるのと同じように、私たちはエホバに許していただき、再びエホバから良いと認められて、いわば癒やされると本当にうれしく感じます。



「彼の傷のおかげで私たちは癒やされた」。(イザ 53:5)

エホバが許してくださるおかげで可能になること

18. エホバが許してくださることについての聖書中のいろいろな表現から、どんなことが分かりましたか。（「エホバはどのように許してくださるか」の囲みも参照。）

18 エホバが許してくださることについての聖書中のいろいろな表現から、どんなことが分かったでしょうか。エホバは許す時に全面的に許します。後になってそのことを持ち出すことは決してありません。私たちはそのおかげで、天のお父さんエホバとの良い関係を持つことができます。一方で、そのようにエホバから許してもらえるのは当たり前のことではありません。それは、エホバが罪を負った人類を愛し、惜しみない親切によって与えてくれた贈り物です。私たちが当然の権利として要求できるようなものではありません。（[ロマ 3:24](#) キリスト・イエスが払った贖いによって解放され、神の惜しみない親切によって正しいと認められることは、無償の贈り物なのです。）

エホバはどのように許してくださるか

エホバはご自分がどのように許すかを私たちが正しく理解できるように、聖書の中で生き生きとした表現を使っています。

罪を取り除く



「許して下さった」。
(詩 32:5)



「日の出は日の入りから
遠く離れている」。
(詩 103:12)



「私の全ての罪をご自分の後ろに
投げ捨ててくださいました」。
(イザ 38:17)



「全ての罪を深い海の中に
投げ込んでくださる」。
(ミカ 7:19)

罪を拭い去る



「あなたたちの罪は緋のようだが、
雪のように白くされる」。
(イザ 1:18)



「私は負債を全て
取り消してあげました」。
(マタ 18:32)



「罪を消し去っていただく」。
(使徒 3:19)



「私はあなたの違反を雲で覆う」。
(イザ 44:22)

良い関係を回復させる



「私は……彼らの罪を
もはや思い出さない」。
(エレ 31:34)



「皆さんは罪から自由にされた」。
(ロマ 6:18)



「彼の傷のおかげで私たちは癒やされた」。
(イザ 53:5)



19. (ア) どんなことに感謝したいと思いますか。(ローマ 4:8) (イ) 次の記事ではどんなことを考えますか。

19 ローマ 4:8 罪があるとエホバから見なされない人は幸せだ。を読む。エホバは「本当に許す方」です。そのことに感謝したいと思うのではないでしょうか。(詩 130:4 あなたは本当に許す方。それで人はあなたに畏敬の気持ちを抱く。)でも、許していただきたいと思うなら、私たちの側にもしなければいけないことがあります。イエスはこう言っています。「人の過ちを許さないなら、父もあなたたちの過ちを許されません」。(マタ 6:14, 15 人の過ちを許すなら、天の父もあなたたちを許してくださいます。15 逆に、人の過ちを許さないなら、父もあなたたちの過ちを許されません。)私たちはエホバに倣って人を許す必要があるということです。ではどうすればそうできるでしょうか。その点を次の記事で考えます。

どんなことを学びましたか

1. エホバが罪を取り除くことが聖書ではどのように表現されていますか。

- ・S05 詩 32:5「許して下さった」。許すという意味のへ語表現は基本的に「持ち上げる」とか「運ぶ」という考えを含む。エホバは私たちの罪を許すとき、重たい荷物を代わりに背負って持っていってくれるかのように、罪を取り去ってくださる。
- ・S06 詩 103:12「日の出は日の入りから遠く離れている」。東と西は全く反対の方角なので、ある意味で一番遠く、この2つが重なることは絶対にない。エホバは私たちの想像できる一番遠い所にまで罪を持っていってくださる。
- ・S07 イザ 38:17「私の全ての罪をご自分の後ろに投げ捨てて下さいました」。これは脚注によると、「私の全ての罪をご自分の視界から取り除いて下さいました」とも訳せ、エホバは悔い改めた人の罪を投げ捨てて、見えなくなるようにして下さるということ。ミカ 7:19「全ての罪を深い海の中に投げ込んで下さる」。当時、深い海の中に何かを投げ込んだなら、それを取り戻すことはできなかつた。

2. エホバが罪を拭い去ってくださるといえるのはどうしてですか。

- ・S09 イザ 1:18「あなたたちの罪は緋のようだが、雪のように白くされる」。布から緋色や紅色の染みを取り除くのは本当に難しいことだが、エホバは私たちの罪を見えなくなるまで完全に洗い流すと保証している。
- ・S10 マタ 18:32「私は負債を全て取り消してあげました」。エホバに罪を犯すたびに、私たちの負債はどんどん増えていき、私たちはエホバに対して多額の借金を負っているようなもの。でもエホバは私たちの罪を許して負債を取り消してくださる。一度許した罪を蒸し返すようなことはされない。
- ・S11 使徒 3:19「罪を消し去っていただく」。古代に使われていたインクは、すすと樹脂と水を混ぜて作られたもので、水を含ませた海綿で拭えば文字を消すことができた。それで、負債は「消し去」られると、完全に存在しなく、もともと何が書かれていたか肉眼では見えなくなり、その記録は最初からなかったかのようになる。エホバは私たちの罪も完全に消し去ってくださる。
- ・S12 イザ 44:22「私はあなたの違反を雲で覆う」。エホバが許して下さる時、私たちの違反はまるで厚い雲で覆われるかのように、全く見えなくなる。

3. エホバが本当に許してくださるおかげで、どんなことが可能になりましたか。

・S14-15 エレ 31:34「**私は……彼らの罪をもはや思い出さない**」。エホバが私たちの**罪をもはや思い出さない**というのは、**私たちを処罰するために行動を起こすことはない**という**意味**で、エホバは**以前に許した罪**のことで、**後から処罰**したりは**しない**。

・S16 ロマ 6:18「**皆さんは罪から自由にされた**」。私たちは**生まれながらにして罪を犯す傾向**があるので、「**罪の奴隷**」に例えられていたが、**エホバが許してくださっているおかげで「罪から自由に」**なることができた。

・S17 イザ 53:5「**彼の傷のおかげで私たちは癒やされた**」。私たちは**エホバとの関係が損なわれている**という意味で、**病気のような状態**だったが、**贖いのおかげで、エホバとの良い関係を完全に取り戻すことが可能になった**。私たちは**エホバに許していただき、再びエホバから良いと認められて、重い病気から回復するよう**に、**いわば癒やされた**。

46 番の歌 エホバ、私たちは感謝します

△ 元のヘブライ語では、「許す」に当たる語に定冠詞が付いていて、それがほかのものとは異なる唯一本当の許しであることを示しています。多くの聖書翻訳ではこの重要な違いが見過ごされていますが、「新世界訳聖書」では**詩編 130 編 4 節**でその違いが分かるように訳されています。

△ **(詩 130:4)** あなたは本当に許す方。それで人はあなたに畏敬の気持ちを抱く。

△ (詩 130:4) あなたは本当に許す方。それで人はあなたに畏敬の気持ちを抱く。

△ **(イザ 55:6, 7)** 見いだせるうちにエホバを探し求めよ。その方が近くにいるうちに呼び掛けよ。❧悪い行いをやめ、有害な考えを捨てよ。憐れんでくださるエホバのもとに帰れ。私たちの神のもとに帰れ。神は寛大に*許してくださる。

または、「惜しみなく」。

△ **(イザ 55:6, 7)** 見いだせるうちにエホバを探し求めよ。その方が近くにいるうちに呼び掛けよ。❧悪い行いをやめ、有害な考えを捨てよ。憐れんでくださるエホバのもとに帰れ。私たちの神のもとに帰れ。神は寛大に*許してくださる。

または、「惜しみなく」。